



CIRのつぶやき



2026.01.01 第69号 私の故郷、ゴビ砂漠



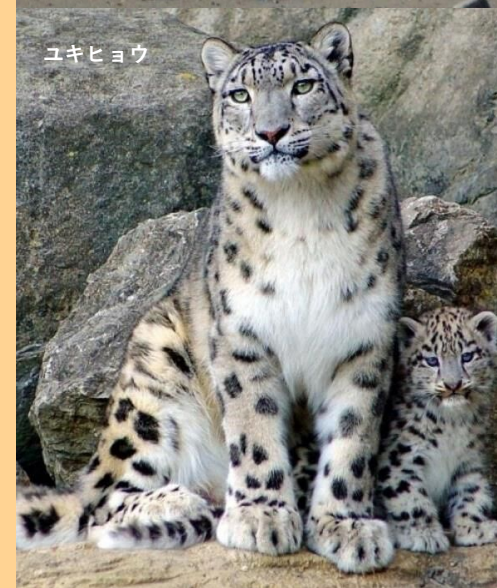
私の故郷でもある、**ゴビ砂漠**はモンゴルと中国の北部に広がる大砂漠で、面積は約130**平方キロメートル**に及びます。これは、日本の面積の**約3.4倍**にあたります。モンゴル国内では、ゴビ砂漠は南部に広がり、乾燥した気候と厳しい自然環境を作り出しています。日本のような湿潤な気候とは大きく異なり、厳しい風や寒さ、砂嵐などが特徴です。



ゴビ砂漠のオアシス



ゴビの熊、マザーライ



ユキヒョウ



ラクダを乗りこなす
遊牧民

写真提供：写真家 Erdenebulgan



世界唯一の野生の馬、タヒ

写真提供：news.mn

ゴビ砂漠は、単に砂が広がる場所ではなく、その**自然環境は非常に多様**です。広大な砂丘や乾燥した草原、岩山が広がる一方で、生命の息吹を感じさせる**オアシス**も点在しています。

砂漠の大部分には、特に**乾燥に強い植物や低木**が生息しています。これらの植物は、限られた水分を最大限に活用し、雨季には短期間で成長し、長い乾季に備えるという特徴があります。

動物たちもまた、ゴビ砂漠の過酷な環境に適応しています。代表的な動物には、家畜として重要な**ラクダ**（フタコブラクダ）、野生の馬（**タヒ**）、稀少な**ユキヒョウ**やゴビの**クマ**などがいます。

ゴビ砂漠には**遊牧民**も住んでいます。遊牧民は、ゲルを住居とし、馬やヤギ、羊、ラクダなどの家畜を育てながら、季節ごとに移動して生活します。



CIRのつぶやき



2026.01.01 第69号 私の故郷、ゴビ砂漠

ゴビ砂漠が**形成された背景**には、地理的な条件と地球規模の気候変動があります。かつて、今からおよそ**2,000万年前**、この地域には**広大な湖や森林**が広がり、恐竜を始め様々な動物が生息していました。しかし、**大陸の移動や気候の大きな変化**を経て、次第に乾燥した地域へと変わっていったのです。

ゴビ砂漠は、**恐竜の化石**が数多く発見される場所として世界的に知られています。特に**ヴェロキラプトル**や**ティラノサウルス**などの化石が見つかり、発掘された恐竜の足跡、卵、骨の一部などは、大変貴重な研究資料です。これらの化石は、世界中の博物館などで展示されています。

ゴビ砂漠は大規模な**鉱物資源**を埋蔵しています。**銅、金**（オユトルゴイ鉱山）、**石炭**などが主要資源です。石油、天然ガス、そして特にレアアース（希土類）も豊富です。鉱業はモンゴルの**経済成長の最大の牽引力**であり、輸出総額の約80%を占めるなど、GDPの大きな割合を占めます。

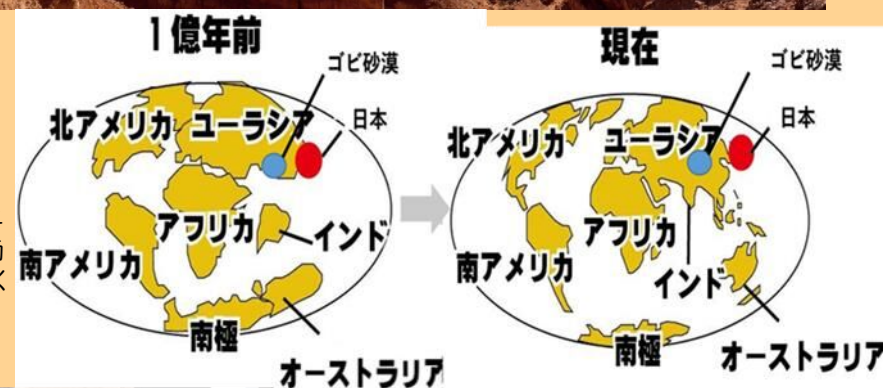


昔、海岸だったところ

写真提供：写真家 Erdenebulgan



約5千万年前に、現在のインドがアジア大陸と衝突したことで、ヒマラヤ山脈が出来、約2千万年前から、南の雨雲が来られなくなり、モンゴルの南が砂漠化しました。



恐竜の卵も見つかります。



モンゴルのデパートに展示されている恐竜の化石



世界有数の大きい鉱山の一つ
オユトルゴイ鉱山



タウン・トルゴイ石炭鉱山



写真提供：wikipedia.org